



NISHI EYE HOSPITAL

# 西眼科だより 第17巻2号

(季刊誌)

2015年4月発行

編集責任者：倉橋美雪

## Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>



## 最新の眼科治療

### フェムトセカンドレーザー 白内障手術

世界最先端の「フェムトセカンドレーザー白内障手術」を白内障手術に導入して3年目。水晶体囊の前面を真円かつ中心に切除する事が可能です。眼内レンズを水晶体囊の中心に固定でき、レンズの偏位や傾きを最小限にする事ができます。水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減し眼の負担が少ない方法です。より質の高い良好な視機能が得られます。日本では厚生労働省にまだ承認されていないので「自費診療」となります。

### プレミアムレンズ 《老視矯正眼内レンズ》

#### 多焦点眼内レンズ

白内障手術時、通常の「単焦点眼内レンズ」か、多焦点(2重焦点)眼内レンズ（遠くにも近くにもピントが合う2重焦点(遠近両用)の眼内レンズ。2重焦点眼内レンズは「先進医療」として当院では厚生労働省に承認されています）。多焦点(3重焦点)眼内レンズ（2重焦点の眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m程の距離)にもピントが合う3重焦点眼内レンズ。日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されていないので術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)3重焦点眼内レンズに関わる治療代は全て「自費診療」となります)。上記いずれかを選択していただく事ができます。

#### ★アドオン(Add-On)追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている方

に更にもう1枚 多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し遠方近方の両方に焦点が合うようにすることができます。3重焦点眼内レンズと同様に、日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されていませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。



## 緑内障手術／網膜硝子体手術

- **最新の緑内障治療法**：当院では、難治性緑内障に対し、眼圧低下を目的に房水を眼内から排出するために使用する最新のインプラント「**エクスプレス™ 緑内障フィルトレーションデバイス**」と「**アーメド緑内障バルブ**」の2種類を導入、患者さんの眼に合わせて選択しています。薬物治療やレーザー治療などの治療法では十分な眼圧効果が得られない患者さんに、新たな治療の選択肢をもたらすこととなります。従来の方法より、合併症が少なくより安全性の高い手術です。
- **最新の硝子体切除器械** コンステレーションを導入して5年目。小切開、5000～7500回転の高速カッターと広角広範囲の眼底観察ができるリサイトにより、従来の方法より安全で、手術時間も短縮されています。

## レーザー涙嚢鼻腔吻合術(DCR)鼻内法/涙道内視鏡

- 流涙で困られている患者さんには、チューブ挿入術を、挿入不可能な場合は、**レーザー涙嚢鼻腔吻合術(DCR)鼻内法**を行っています。鼻涙管に強度な閉塞がある、長期にわたり閉塞している、閉塞により涙嚢炎を繰り返す等の症状のある人に有効な治療法です。**鼻涙管内視鏡**と**鼻腔内視鏡**で観察しながら、**レーザーを用いて**、閉塞した鼻涙管を鼻腔内に開口させ、つまった涙の流れを良くします。従来の方法より、より安全性・確実性の高い手術です。
- **涙道内視鏡**とは、直径0.9mmの筒状器具を使用し、モニター映像をみながら涙道の閉塞部を検査し処置を行います。

上記治療は「眼科」「耳鼻科」両方の知識を伴う特殊な手術手技です。現在、この手術を施行している施設・医師は全国でもまだ少数です。

詳しくはスタッフまでお問い合わせください